

第7回南九州市ふれあい球技大会

～ひろげようスポーツの輪、つなげよう地域のきずな～



8月2日、知覧平和公園をメイン会場に、第7回南九州市ふれあい球技大会が開催され、各校区・地区から選ばれた選手が気持ちの良い汗を流しながら熱戦を繰り広げました。

《各競技入賞結果》

【ソフトボール】(参加22チーム)
優勝:知覧B 2位:松山 3位:浮辺、中福良
【バレーボール】(参加22チーム)
優勝:川辺A 2位:郡 3位:霜出、宮脇
【グラウンド・ゴルフ】(参加47チーム)
優勝:中福良B 2位:知覧A 3位:別府D



▲ソフトボール



▲バレーボール



▲グラウンド・ゴルフ

【優勝チームの皆さん】



▲知覧Bチーム



▲川辺Aチーム



▲中福良Bチーム

人形が演じる「忠臣蔵」

～豊玉姫神社の水車からくり～

7月9、10、18日、知覧水車からくり保存会による水車からくり「忠臣蔵」が豊玉姫神社で上演されました。

大石内蔵助くらのすけの陣太鼓を合図に赤穂浪士が吉良邸に討ち入り、吉良上野介こうずけのすけを捕える様子を、一つの水車の動力で動く29体のからくり人形たちが演じました。

この水車からくりは、毎年異なる演目で上演され、夏の風物詩として観客を楽しませてくれます。



▲この水車からくりは、「知覧の水車カラクリ」として県から有形民俗文化財の指定と、「薩摩の水車からくり」として国の無形民俗文化財の選択を受けています。

▼北九州市の方へ南九州市のことをいっぱいPRしてきました。最後はノーフォーク広場で関門海峡をバックに記念写真を撮影。とても充実した3日間になったようです。



南・北九州市子ども交流事業

～平成27年度 in 北九州市～

8月4日～6日、南九州市・北九州市の小・中学生57人が北九州市で交流を行いました。最終日には、門司港駅プロジェクトと題して、参加者が協力して作成したポスターを使い、南九州市のPR活動を行いました。参加した子どもたちは、「最初は恥ずかしかったけど、いろいろな人に南九州市を知ってもらえて良かった」と話しました。

★ 小学校と図書館（室）へ本を寄贈 ～南薩食鳥株式会社から～

7月15日、南薩食鳥（株）の徳満義弘代表取締役が図書の寄贈目録を贈呈するため教育委員会を訪れました。徳満代表取締役は「知覧町での操業開始35周年を迎えました。これまでの感謝の気持ちを込めて、児童をはじめ市民のお役に立てれば」と話し、『心に響く小さな5つの物語』『心に響く小さな5つの物語II』各208冊を寄贈しました。



▲中村洋志教育長は「この2冊は感動的な内容で、これからの自分の生き方・やり方を考える道標になると思います」とお礼を述べました。

▼大迫さんは、「これからも地域住民の環境意識の向上に努めていきたい」と話しました。



★ 環境衛生改善功労者として受賞 ～大迫 茂子 さん（穎娃町別府）～

県衛生自治団体連合会総会において、大迫茂子さんが環境衛生改善功労者として表彰されました。大迫さんは、旧穎娃町より衛生自治団体連合会の役員を務め、合併後も、ごみ減量化のための生ごみ処理容器の普及啓発活動やごみ収集所の整備など、地域の環境美化に大きく貢献されました。今回の表彰は、その功績が認められたものです。

▼協力し合って木工製品作りに挑む親子ら。約4時間かけて作り上げました。子どもより保護者が夢中になる姿も…。



★ 親子で挑戦！ ～夏休み木工教室 in 南九州～

8月6日、「夏休み木工教室 in 南九州」が知覧運動公園で開催され、小・中学生と保護者ら約260人が県、かごしま森林組合、市役所職員の指導のもと木工製品作りに挑戦し丸イスや壁掛け棚を作りました。この催しは、木に触れることの少ない子どもたちに木のすばらしさを知ってもらおうと市みどりの推進協議会が毎年開催しています。

★ 絵本の世界を満喫 ～市立図書館主催「読書のつどい」～

7月25日、「ももんちゃん」「バルボンさん」シリーズでおなじみの、とよたかずひこさんを招いて、「読書のつどい」をひまわり館で開催。「ももんちゃんとおそぼう！」絵本&トークライブでは、市内外から約120人が参加し、とよたさんの代表的な愛くるしいキャラクターたちが紙芝居や絵本の中から飛び出すなど、終始笑顔の絶えない読み聞かせとなり、大盛況の1日でした。



▲午前中は、小学生18人がマーカーやクレヨンで絵本の製作に挑戦。限られた時間で世界に1冊しかない絵本を完成し、やりきった感100%の子どもたちでした。